

令和5年度 児童発達支援センターバンビ事業報告

1 基本方針

児童発達支援センターバンビは、「児童一人ひとりに対する丁寧な「根拠」ある療育」、「南区の中核的療育支援センターとしての役割」、「福祉施設としての地域への貢献」を理念とし、療育基本指針を策定して児童発達支援に努めた。また相模原療育園発達外来、診療部リハビリテーションと連携を図り、園児の発達を促す取り組みを実施した。付帯事業である保育所等訪問支援事業については、契約園児の所属する保育園、幼稚園、こども園に訪問し、障害特性による個別的配慮やアドバイス等を行い、十分に連携を取ることができるよう支援に努めた。

2 児童発達支援

1) 概要

児童発達支援は、毎日通園・週一通園（保育園、幼稚園、こども園との並行通園で週に一回一日）の混合が5グループで行った。園児数は4月に毎日通園35名、週一通園25名、計60名の在籍となった。

療育時間は、10時～14時30分とし、年度初め（4月3日）夏休み（8月14日・15日）年末年始（12月29日～1月4日）と年度末（3月29日～31日）以外は通園を実施した。

療育は、バンビの理念に基づいた療育基本指針「地域で自分らしく生活するために、乳幼児期から基本的な生活習慣を身につけられるように、保護者の方と共に療育を行う」「小集団の良さを活かしながらいろいろな環境への適応力を育て、生活力を養う」「一人ひとりの支援計画を作成し、相模原療育園の医療スタッフと連携しながら、全職員と保護者の方と力を合わせて発達を促す関わりに取り組む」に沿って実施した。

2) 毎日通園

(1) 園児数

きりん組7名、くま組6名、うさぎ組6名、らいおん組8名、りす組8名の計35名であった。（4月1日現在）

【年齢別内訳】

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男児	0	0	5	7	13
女児	0	0	1	6	3
計(名)	0	0	6	13	16

(2) 個別支援計画

保護者との面談を年3回実施し、意向・要望などの意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成、実施、評価を行った。

(3) 療育プログラムなど

①日々の活動を充実して実施できるよう療育指導計画(月案、週案)を作成した。小集団の中で子どもの障害特性に配慮し、様々な遊びや課題を通して運動能力、認知能力、社会性など、総合的な発達を促し、能力を引き出すことで、できることの喜びを感じたり自信をもつことにつながったりする療育活動を行った。

②一人ひとりが基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことができるように支援した。

③行事は季節の行事や伝統行事を大切にし、感性豊かな育みを目指した。今年度実施した行事は以下の通りである。

- ・ 4月4日 入園式、始業式
- ・ 7月7日 たなばた
- ・ 7月21日 夏祭り
- ・ 10月13・16・20日 運動会※1
- ・ 11月17日 園外療育(雨天のためバンビ園舎内実施)※2
- ・ 12月22日 クリスマス会
- ・ 1月22・26日・2月2日 おたのしみ会※3
- ・ 2月2日 節分、豆まき
- ・ 3月1日 ひなまつり
- ・ 3月12～14日 卒園セレモニー
- ・ 3月28日 卒園式、終業式

※1 運動会 13日 AM りす・PM くま 16日 AM きりん・PM うさぎ 20日 AM らいおん

※2 園外療育 麻溝公園での遠足を予定していたが雨天のため中止

※3 おたのしみ会 1月22日 AM うさぎ・PM くま 26日 AM きりん・PM りす
2月2日 AM らいおん

○相武台保育園との交流活動（さくらんぼ交流）については、

- ・ 6月23日 バンビ園庭遊び
- ・ 10月30日 バンビ園舎内での集団遊び
- ・ 11月13・14・16・20日 さがみはらんど（相武台保育園）にバンビ園児参加
- ・ 12月11日 相武台保育園 園庭ミニ運動会
- ・ 2月6日 バンビ園舎内での交流

④栄養管理計画に基づき、子どもにとって最も相応しい食事計画の立案と、一人ひとりの摂食能力・状態に合った食事形態を工夫するために、委託業者と定期的に「給食会議」を開いた。必要に応じて環境の設定や摂食の評価をし、支援につなげた。

⑤毎日通園卒園児は地域の小学校の特別支援学級11名と県立相模原支援学校小学部への就学5名を合わせて16名であった。卒園式は3月28日午前に行った。

（４）健康管理

園児の成長及び健康管理の把握のため、毎月の身体測定と年2回の内科、歯科健診を実施した。

春の健康診断	内科 5月25日	歯科 5月24日
秋の健康診断	内科 11月9日	歯科 11月8日

（５）保護者支援

①療育参観・懇談会や行事への参加及び子育て講座、ペアレントトレーニングや相談等を実施した。

②保護者からの相談は随時受け付け、困りごとや悩み等は職員（園長・児童発達支援管理責任者・担任）及び『Dr. 細田の育児相談』、吉田臨床心理士による相談などに応え

られるようにした。

3) 週一通園

(1) 園児数

週一通園 25 名の受け入れで療育を行った。(4 月 1 日現在)

【年齢別内訳】

	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
男児	0	0	6	8	7
女児	0	0	2	0	2
計(名)	0	0	8	8	9

(2) 個別支援計画

保護者との面談を年 3 回実施し、意向・要望などの意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成、実施、評価を行った。

(3) 療育プログラムなど

- ①日々の活動を充実して実施できるよう療育指導計画(月案、週案)を作成し、小集団の中で子どもの障害特性に配慮し、様々な遊びや課題を通して運動能力、認知能力、社会性など、総合的な発達を促し、能力を引き出すことで、できることの喜びを感じたり自信をもつことにつなげたりする療育活動を行った。
- ②一人ひとりが基本的生活習慣を身につけ、身の回りのことができるように支援した。
- ③季節の行事や伝統的な行事を大切にし、感性豊かな育みを目指した。今年度実施した行事は以下の通りである。
 - ・ 7 月 7 日 たなばた
 - ・ 12 月 22 日 クリスマス会
 - ・ 2 月 2 日 節分、豆まき
 - ・ 3 月 1 日 ひなまつり
- ④栄養管理計画に基づき、子どもにとって最も相応しい食事計画の立案と、一人ひとりの摂食能力・状態に合った食事形態を工夫した。また、必要に応じて環境の設定や摂食の評価をし、支援につなげた。
- ⑤卒園児は地域の小学校への就学(特別支援学級と通常の学級合わせて)が 9 名であった。週一通園卒園児は最後の登園日にクラスの仲間に祝福されて、保護者同伴で園長より卒園証書の授与が行われた。

(4) 健康管理

園児の成長及び健康管理は所属園に依頼し、必要に応じて連携をとった。

(5) 保護者支援

- ①保護者は毎月、療育参観・話し合い、子育て講座やペアレントトレーニングや相談等を実施した。
- ②保護者からの相談は随時受け付け、困りごとや悩み等は職員(園長・児童発達支援管

理責任者・担任）及び『Dr. 細田の育児相談』、吉田臨床心理士による相談などに応えられるようにした。

4) 各通園形態共通

(1) 相模原療育園発達外来との連携

療育、医療交流モデルの構築の中核事業として、相模原療育園診療部リハビリテーションとの定期的な連携を図り、療育の場面での効果的なサポートを受けた。また発達外来医師と看護師、リハスタッフ、バンビ職員とバン療会議（バンビと相模原療育園担当者会議）を開催する予定であったが、今年も一堂に会することを避けリモートで情報交換等を行うこととなった。

さらに、統括施設長である細田先生のお力をお借りして、保護者の悩みを具体的に相談できる『Dr. 細田の育児相談』を開催させていただくことができ、保護者の安心につながった。また、子どもたちの状況を確認し、保護者の相談に応じるために臨床心理士による相談日を毎月2回ずつ設定し、保護者への周知も図った。

【リハスタッフ・訪問実績】

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月
OT 1名	OT 1名	OT 1名 PT 1名	OT 1名 PT 1名	OT 1名	OT 1名	OT 1名 PT 2名	OT 1名	OT 1名 PT 2名

【臨床心理士訪問実績】各月の日にちを記載

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
14, 24	9, 30	12, 29	7, 19	3, 25	11, 21	10, 18	7, 15	4, 22	12, 30	6, 22	7, 13

【Dr. 細田の育児相談】

6月	7月	11月	12月	2月	3月
21日	11日	14日	12日	6日	12日
1件	1件	1件	2件	1件	1件

(2) 保護者支援

家庭生活での困り感や対処方法及び障害理解等について随時相談を受け付け、保護者の困りごとや悩み等に応えた。もう少し保護者間での話し合いを取り入れる機会を作れたかったが、感染症対策や準備の都合上十分な取り組みができなかった。

(3) 衛生管理

園内の美化に努め、衛生管理を徹底し、感染症予防の研修を園内で実施した。

また園児、職員及び近隣における要救護者に対する応急処置に対応するため、AEDの利用方法も周知した。

(4) 事故防止

園内の備品、危険個所を常にチェックし、事故防止に努めた。また事故発生時はマニュアルに沿った対応を実施した。

(5) 出席率

各通園の出席率は次のとおりである。

(1) 毎日通園

単位：％

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
出席率	92.48	91.75	85.71	85.86	87.90	71.32	91.73
月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年平均	
出席率	85.79	82.63	87.57	88.23	86.70	86.47	

(2) 週一通園

単位：％

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
出席率	96.15	81.90	82.76	75.00	80.00	63.89	81.36
月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年平均	
出席率	72.03	64.81	78.22	66.09	82.00	77.02	

3 障害児相談支援

陽光園と連携して6回のシリーズで子育て講座が開催された。就学に関する質問や日常の育児についてなども随時相談に応じる体制を設けた。またペアレントトレーニングをはじめとして、家庭での育児方法や就園・就学先等の個々の相談には、各クラス担任等が対応した。

○子育て講座（全6回）

保護者支援の一環として、陽光園が主催していたものをバンビのニーズに合わせたバンビ主催で6回開催することとなった。

第1回 7月18日 親子で楽になる生活リズムの整え方（山崎児童発達管理責任者）

第2回 8月31日 理学療法士さんのお話（深澤理学療法士）

第3回 10月3日 子育てに活かす発達の理解（陽光園 心理士）

第4回 11月9日 Dr. 細田のお話（細田医師）

第5回 12月13日 心理士 吉田先生のお話（吉田心理士）

第6回 1月12日 小学校ってどんなところ？（園長 田中）

○ペアレント・トレーニング（全5～6回で1サークルとなります）

第1サークル（7月13日～9月21日）

第2サークル（10月5日～12月7日）

○先輩ママのお話会

5月2日・12日・19日・22日にバンビ保護者が就学について知るために、卒園児保護者から就学時の経験を聞く機会を設ける。録画したインタビューをYouTubeで限定公開する。

4 保育所等訪問支援

1) 総括

(1) 在園児を対象とした幼稚園・こども園・保育所への訪問は、週一クラス希望家庭で契約23名（年長児8名、年中児8名、年少児7）であった。

(2) 週一クラス在園児の訪問はクラス担任が中心となっており、所属園での生活の様子を観察後、所属園の担任との情報交換及び集団生活上の留意点や障害特性による個別

的配慮へのアドバイスなど必要な支援を行った。

- (3) 週一クラス在園児の所属園への訪問回数は2回程度を目標としたが、在園児の都合や所属園の行事の関係などで訪問が延期することがあった。

2) 個別支援計画

保護者との面談により意向・要望等の意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成し、計画実施後評価を行った。訪問での様子や所属園との連携の姿等を訪問後に直接保護者との連絡や話し合いで伝えることができた。

3) 訪問実績（件数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合 計（件）
0	0	0	8	4	3	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	45
2	7	1	6	8	6	

5 施設地域開放・交流

学生の就職活動にもつながる学びの場として、各大学等の保育実習の受け入れを行った。保育実習前の健康状態の管理を本人並びに大学に依頼して、感染防止に最大限配慮した形で実習を行った。

【実習生等】

期 間	内 容	学校名	人 数
8 月 31 日～9 月 15 日	保育実習	鎌倉女子大学	2
9 月 26 日～9 月 27 日	看護実習	北里大学	2
10 月 3 日～10 月 4 日	看護実習	北里大学	2
10 月 16 日～10 月 27 日	保育実習	洗足こども短期大学	2
12 月 4 日～12 月 15 日	保育実習	洗足こども短期大学	1
1 月 16 日～ 1 月 17 日	看護実習	北里大学	2
1 月 22 日～ 2 月 6 日	保育実習	東京家政短期大学	2
2 月 13 日～ 2 月 29 日	保育実習	相模女子大学	2
3 月 4 日～ 3 月 24 日	保育実習	湘北短期大学	1

6 施設管理

1) 防火・防災

- (1) 不時の災害に的確に対応するため、防災対策マニュアルに基づき月1回の避難訓練を実施し、また防災機器の点検を行った。消防署との合同訓練で、通報訓練・園児の避難・消火訓練も実施した。

通報訓練 令和4年8月29日（月） 14:40～14:50

令和4年11月15日（火） 16:20～16:30

消火訓練 令和4年8月29日（月） 14:30～15:00

総合訓練 令和5年8月19日（火） 14:30～15:00

- (2) 災害時の食糧は、園児(定員40名分)、職員分として3日分備蓄した。

(3) 避難訓練、防災訓練実績

実施日	訓練想定	実施日	訓練想定
4月28日	クラスでまとまって活動中の地震・出火（昼食後）避難訓練に慣れることを目的としている、	10月18・27日	各クラスで散歩中に地震が発生。その場で待機 避難・連絡 避難場所：消防署
5月26日	クラスでまとまって活動中の地震・出火（午前）	11月24日	クラスがまとまって活動している時の地震・火災 テラスを通過して遊戯室へ移動 消防署への通報訓練
6月29日	クラスが分かれて活動しているときの地震・出火（午後）	12月22日	2階で活動をしている時の地震・出火（きりん・りす）。非常階段を通過して園庭門扉前へ移動
7月19日	クラスが分かれて活動している時の地震・出火 園舎内を通過して玄関ホールに移動	1月31日	2階で活動をしている時の地震・出火（くま・うさぎ・らいおん）。非常階段を通過して園庭門扉前へ移動
8月28・29・30・31日	バス運行中の地震 バス内での安全確保と園への連絡	2月26日	静養室からの出火。延焼が広がり若草中学校へ全員避難
9月15日	大規模災害や事件等で、バスが運行できなくなった時の対応として、引き渡し訓練を行う。	3月19日	2階個別訓練室1から出火 クラスごとに適切な経路で園庭門扉前に移動

2) 防犯

不審者の侵入などに対し、防犯訓練を実施するとともに、施設内不審者侵入防止に努めた。

(1) 不審者訓練

日 時	研修・訓練	場 所
7月26日	不審者対策・相模原南警察との連携	バンビ園庭から園舎内

(2) 行方不明等事故管理対策マニュアル

昨年修正した地図の見直しを行い加筆修正した。

7 職員教育

職場内研修やケース会議を定期的に行い、また、外部研修に職員を派遣し、児童発達支援の知識、質の向上を図ることを目的とした。今年度も職場内での研修を中心にを行い療育の幅を広げるために週案作成のためのミーティングを実施し、より多くの実践を進めることがで

きた。また、書籍の定期購入も進め、職員の研鑽の場を積むことができた。

(1) 職場内研修

月 日	内 容	参加人数
3 月 31 日	年度初め研修会 児童発達支援センターバンビのめざすもの 具体的な支援方法	18 名
4 月 28 日	子どもの観察のポイント・方法	7 名
5 月 2 日	受給者証について	7 名
5 月 8 日～ 5 月 1 2 日	救助袋使用・非常ベル・火災報知器・放送設備	7 名
6 月 2 日	A E D の扱い方	7 名
7 月 2 5 日	不審者侵入訓練	7 名

(2) 外部研修

実施月	研修名	講師	参加者
7 月 28 日	苦情解決研修会 (オンライン研修)	角田 勝政氏 伊東 秀幸氏	園長
8 月 22・23 日	ペアレント・トレーニング リーダー養成講習会	まめの木クリニック	山口香名衣
9 月 19 日	新人フォロー研修	ソエルクラブ	土田愛理
11 月 10 日	ハラスメント防止講習会	近藤 あきのり氏	山口香名衣
11 月 27・28 日	チームリーダーキャリアパス 対応生涯研修課程	神奈川県社会福祉協議会	山田貴子
12 月 8 日	職場における人間関係とコミュニケーション	三島 広和氏	尾山照昌 山口ひかり
1 月 15 日	療育センター食支援推進委員会	陽光園	山口香名衣
1 月 23 日	プレリーダー研修	神奈川県社会福祉協議会	照沼里紗

(3) 現任研修

しばらく新型コロナの影響で現任研修が滞っていたが、今年年度より復活し、バンビ職員と相武台保育園との職員交流を進めていくことができた。今年度は年間相武台保育園から3回(1/11、1/25、2/16)に分けて、先生方お一人ずつ来園され、バンビのクラスに入って参観していただいたり、参加していただいたりした。バンビからも何う予定で計画は立てたが、訪問予定者が体調不良で訪問することができなかった。

8 相談支援事業所アウル事業

1) 利用者状況

(1) 相談支援を利用した人数と障害種別

(単位：人)

	実人員		身体障害		重症心身障害		知的障害		発達障害		高次脳機能障害	
	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児
4月	25	40	2	1	16	6	4	5	3	28	0	0
5月	18	27	4	0	8	6	3	3	3	18	0	0
6月	22	37	2	2	13	8	4	4	4	23	0	0
7月	33	40	3	3	21	13	1	4	7	20	1	0
8月	31	41	7	0	13	10	7	5	4	26	0	0
9月	28	33	3	0	11	5	6	1	8	27	0	0
10月	23	31	3	0	12	7	4	1	4	23	0	0
11月	26	32	6	0	14	7	2	4	4	21	0	0
12月	28	37	2	1	21	8	3	4	4	24	0	0
1月	36	36	3	1	23	10	3	6	6	19	1	0
2月	40	34	3	1	27	5	4	4	7	24	0	0
3月	41	38	2	1	23	6	5	2	11	29	0	0
小計	351	426	40	10	202	91	46	43	65	282	2	0
総計	777		50		293		89		347		2	

(2) 支援方法

(単位：件)

訪問	251
来所相談	264
電話相談	147
電子メール	1
個別支援会議等	19
関係機関	13
その他	83
合計	777

(3) 支援（相談）内容

(単位：件)

福祉サービスの利用に関する支援	746
障害や病状の理解に関する支援	0
健康・医療に関する支援	1
不安の解消・情緒安定に関する支援	2
保育・教育に関する支援	5
社会参加・余暇活動に関する支援	1
その他	25
合計	780

(4) 対応結果

(単位：件)

聞き取り	367
モニタリング	356
情報提供・収集	13
他機関紹介	1
代行	50
アセスメント	0
緊急対応	2
不安の解消	1
見守り・状況確認	2
連絡調整	28
その他	12
合 計	832

(5) 利用実績（支援費受領件数）

(単位：件)

	障害者			障害児		
	計画案・計画	モニタリング	計	計画案・計画	モニタリング	計
4 月	23	11	34	35	31	66
5 月	8	11	19	12	21	33
6 月	7	18	25	10	34	44
7 月	5	20	25	22	30	52
8 月	8	21	29	21	32	53
9 月	8	15	23	26	26	52
10 月	4	21	25	11	20	31
11 月	4	14	18	18	27	45
12 月	9	14	23	21	29	50
1 月	7	30	37	10	30	40
2 月	20	25	45	16	29	45
3 月	8	24	32	12	32	44
総計	111	224	335	214	341	555

2) 地域連携等

(1) 個別支援検討会議等

日 時	会 議 名	主催・場所
4 月 25 日	ケース会議	きらら
6 月 29 日	担当者会議	きらら
7 月 26 日	移行支援会議	座間支援学校
7 月 31 日	移行支援会議	座間養護学校
8 月 2 日	移行支援会議	座間支援学校（2 事例）

8 月 3 日	移行支援会議	座間支援学校
8 月 29 日	担当者会議	星が丘小学校
9 月 6 日	担当者会議	きらら
9 月 29 日	担当者会議	星が丘小学校
12 月 20 日	ケース会議	大野小学校
1 月 16 日	担当者会議	サイレントフット
1 月 29 日	担当者会議	星が丘小学校
2 月 19 日	担当者会議	グループホームけやき
3 月 8 日	担当者会議	きらら
3 月 14 日	移行支援会議	相模原中央支援学校（3 事例）
3 月 18 日	担当者会議	星が丘小学校
3 月 27 日	担当者会議	相模原中央支援学校

（２）自立支援協議会等

日 時	会 議 名	主催・場所
5 月 9 日	南障害者相談支援キーステーション グループスーパービジョン	WEB 会議
8 月 9 日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域 活動支援センター
9 月 27 日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域 活動支援センター
11 月 22 日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域 活動支援センター
1 月 31 日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域 活動支援センター
3 月 27 日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域 活動支援センター

（３）研修等

開催月	研 修 名	実施主体	参加者
9 月～12 月	神奈川県相談支援従事者初任者研修	神奈川県	1 名
12 月 13 日	BCP 研修	相模原療育園	3 名
3 月 4 日	障害者相談支援とキーステーション の役割と実践	相模原市 社会福祉事業団	1 名